

ヴァイオリン協奏曲の魅力を探る 第2回

プログラム

今回は、古今東西のヴァイオリン協奏曲を取り上げその魅力を探って行きます。良く知られた名曲から隠れた名曲まで、ヴァイオリン協奏曲の魅力に迫ります。今日はその第2回です。特製ステレオでお楽しみ下さい。

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調「トルコ風」～第3楽章

イツァーク・パールマン（ヴァイオリン）

ジェームズ・レヴァイン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団（1982年ウィーンLive）

ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲ニ長調～第1楽章（カデンツァ＝シュニトケ）

ギドン・クレメル（ヴァイオリン）

クラウディオ・アバード指揮ロンドン交響楽団（1977年ザルツブルク音楽祭Live）

ひと休みの音楽

ヴェルディ：歌劇「オテロ」～すでに夜は更けた

フランコ・コレルリ（テノール）/レナータ・テバルディ（ソプラノ）

森 正指揮東京フィルハーモニー管弦楽団（1973年ジョイント・コンサートよりのLive）

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調～第1楽章から第2楽章途中まで

アンネ・ゾフィー・ムター（ヴァイオリン）

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団（1981年Live）

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲ニ長調～第1楽章

庄司紗矢香（ヴァイオリン）

ユーリ・テミルカーノフ指揮サンクトペテルブルク・フィルハーモニー管弦楽団（2001年Live）

ひと休みの音楽

ボロディン：弦楽四重奏曲第2番～第3楽章（ノクターン）

東京クアルテット（1993年モントルー音楽祭Live）

バーバー：ヴァイオリン協奏曲～第1楽章、第3楽章

ギル・シャハム（ヴァイオリン）

アンドレ・プレヴィン指揮ロンドン交響楽団